

八幡工高新聞

発行者：滋賀県立
八幡工業高校新聞部
教育
実習生号

先生を目指す2人の 元八工ラグーマン



今年も2人の八工OBが教育実習生として母校に帰ってきた。二人とも在学中はラグビー部に在籍。守りの要となるフルバックでプレーしていた。数年ぶりに帰ってきた母校で、教える側で頑張る2人にインタビューをした。



英語の楽しさを 伝えられる 教師になりたい

堀口 竜大先生 PROFILE
(ほりぐち りょうた) 22歳
立命館大学文学部 4回生
国際コミュニケーション学域在学

と820点のスコアを持つ。
堀口先生が目指す理想の先生像は「英語の楽しさを教えられる先生」だ。今回の教育実習で、初めて経験した授業ではテンパってしまったという堀口先生だが、今後は授業力に磨きをかけられるだろう。

「英語は色々な国で使われる言語。コミュニケーションのツールになり、勉強のしがいがあることが魅力」と話す。また英語を上達させるには「話す・書く・聞くなどの色々な要素があり、どれか一つだけというわけにはいかない。バランス良く勉強することが大事」と教えてくださった。

夢に向かい全力で励む堀口先生。自分も先生を見習い、もっと頑張ろうと思った。(竜)

英語は楽しくて 勉強しがいがある教科

英語の先生を目指し、勉強している教育実習生の堀口先生。元々「ラグビーがしたい」という理由で兄も通う本校を受験した。当時は勉強そっちのけで部活のラグビーに打ち込む日々を過ごす、ラグビー好きな青年だった。

そんな青年がラグビー以外で好きだったものがある。英語だ。受験の時に成績が伸び、チームメイトに英語を教える事も多かった。教えることも好きで、高校2年生の頃に既に「英語の先生になりたい」と考えていた。

卒業後は立命館大学に進学し、英語に磨きかける。TOEIC(トイーック)のテストではなん



PROFILE 狭川 剛(さがわ つよし)先生 21歳
大阪体育大学体育学部 4回生
スポーツ教育学科在学 趣味：スポーツ観戦

道しるべを示すような 影響力のある 教師になりたい

体育の先生になるため努力している狭川先生は、根っからのスポーツマン。教職を志した理由もスポーツだ。

小学2年生でラグビーに出会った。八工ラグビー部時代は、背番号15番を背負いフルバックとして奮闘する。

「そのころから将来はラグビーに携わる仕事をしたいと、教員としてやっていきたいと思っていた」と話す。ちなみに八工時代はキャプテンを務め、7年ぶりに花園出場を果たしたチームを率いていた。

教育実習の期間中にどんなことを経験したいか尋ねると「授業中の生徒に対する接し方・声掛けなど、どうしたら上手く伝えられるかを学んでいきたい」と答えてくださった。

「一人一人の生徒に真摯に向き合い、道しる

べを示せるような影響力を持ちたい」と教師としての将来を見据える。
在校生に向けて「八工は資格がたくさん取れるから、取れるものは取っておいたほうがいい」とアドバイスをする。

最後に「三年間を有意義に使うことが将来大切になる。ただボーッと生きるだけでなく、充実した三年間を送ってほしい」とエールを送った。今からでも遅くはないから、八工で有意義な時間を過ごそうと思った。(川)

